表2　北海道レッドデータブック・カテゴリーと他のカテゴリーの対応

北海道 レッドデータブック・カテゴリー	環境庁（1997a） レッドデータブックカテゴリー	IUCN（1994） レッドリストカテゴリー
絶滅種 Ex（Extinct） すでに絶滅したと考えられる種または亜種	絶滅 EX（Extinct） 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	絶滅種 EX（Extinct） 疑いなく最後の1個体が死亡した場合の分類群
野生絶滅種 Ew（Extinct in the Wild） 本道の自然界ではすでに絶滅したと考えられているが、飼育等の状態で生存が確認されている種または亜種	野生絶滅 EW（Extinct in the Wild） 飼育・栽培下でのみ存続している種	野生絶滅種 EW（Extinct in the Wild） 栽培や捕獲状態あるいは過去の分布域の明らかな外に野生化した状態でのみ生存している分類群
	絶滅危惧（Threatened）	絶滅危惧（Threatened）
絶滅危機種 Cr（Critically Endangered） 絶滅の危機に直面している種または亜種	絶滅危惧ＩＡ類 CR（Critically Endangered） ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	危機的絶滅寸前 CR（Critically Endangered） 極度に高い絶滅のリスクに直面しておりごく近い将来に野生絶滅に至る可能性のある分類群
絶滅危惧種 En（Endangered） 絶滅の危機に瀕している種または亜種	絶滅危惧ＩＢ類 EN（Endangered） ＩＡ類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	絶滅寸前 EN（Endangered） 非常に高い絶滅のリスクに直面しており近い将来に野生絶滅に至る可能性のある分類群
絶滅危急種 Vu（Vulnerable） 絶滅の危機が増大している種または亜種	絶滅危惧Ⅱ類 VU（Vulnerable） 絶滅の危険が増大している種	危急 VU（Vulnerable） 高い絶滅のリスクに直面しており中期的な将来に野生絶滅に至る可能性のある分類群
希少種 R（Rare） 存続基盤が脆弱な種または亜種（現在のところ、上位ランクには該当しないが、生息・生育条件の変化によって容易に上位ランクに移行する要素を有するもの）	準絶滅危惧 NT（Near Threatened） 存続基盤が脆弱な種（現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの）	低リスク LR（Lower Risk） 絶滅危惧のカテゴリーのいずれの基準も満たさないと評価された分類群 保全依存 cd（Conservation dependent） 準絶滅危惧 nt（Near Threatened） 軽度懸念 lc（Least Concern）
地域個体群 Lp（Local Population） 保護に留意すべき地域個体群	情報不足 DD（Data Deficient） 評価するだけの情報が不足している種	情報不足 DD（Data Deficient） 適切な情報がなく絶滅のリスクを直接的にも間接的にも評価できない分類群
留意種 N（Noteworthy） 保護に留意すべき種または亜種（本道においては個体群、生息・生育域ともに安定しており特に絶滅のおそれはない）	絶滅のおそれのある地域個体群 LP（Threatened Local Population） 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの ＊付属資料扱い	未評価 NE（Not Evaluated） 新基準に照らして査定が行われたことのない分類群

*定性的定義のみ。　　*定性的定義と数値基準の併用　　*数値基準適用